

**医療機関のための
「やさしい日本語」研修ガイド**

執筆者：順天堂大学 武田 裕子
(医療×「やさしい日本語」研究会 代表)

「やさしい日本語」は普段から使い慣れておくこと、そのために実際に使ってみる研修が有効です。本付録は、「医療×「やさしい日本語」研究会」(<https://easy-japanese.info/>)が独自に作製した資料です。医療機関で「やさしい日本語」研修を行う際に役立つ準備の留意点、プログラム例、練習問題、患者役外国人のリクルート方法についての情報を紹介しています。最後に、「やさしい日本語」お役立ち資料として各種教材、そのまま使えるオノマトペシートへのリンクや手作り教材のヒントなどを掲載しています。地域のニーズや職場にあった方法で「やさしい日本語」研修をぜひご検討ください。

「やさしい日本語」の研修開催

「やさしい日本語」研修を行う前に

「やさしい日本語」は外国人患者のみでなく、高齢者や子ども、聞こえや理解に不安のある患者など多くの方に用いる事ができるコミュニケーションツールです。医療機関でどのようなコミュニケーションの課題があり、「やさしい日本語」のニーズがあるのか事前にリサーチした上で、ニーズに応じた研修を行うと効果的です。ここでは、『日本語初心者の外国人患者とのコミュニケーションにおいて役立つ「やさしい日本語」の使い方を学ぶ』研修を想定して実施プロセスを紹介します。

研修までの流れ

1. ニーズの把握、研修スタイルの決定（対面・オンライン）
2. 日程、場所、機材等の確保と研修会の告知
3. プログラムの構築、ファシリテータと外国人模擬患者の依頼
4. 研修参加者を募り、事前アンケートを実施
（所属部署の状況、具体的な困りごと、研修に期待することなどを把握）
5. 関係者事前打ち合わせ・患者役とのロールプレイングの練習
6. 当日の研修実施

研修後のフォローアップ

- ◆ 事後アンケートの実施とフォローアップ調査
（学びの感想だけでなく、その後学びを生かす場面があったかどうか、どのように現場で根付いたか、など定期的にフォローアップ調査を行う）
- ◆ 新たなニーズを発掘、次の研修へつなげていく

プログラム例

ロールプレイを用いたオンライン・ワークショップ

2時間30分コース 参加者人数 30名まで

*は付録内に資料の掲載もしくはURLあり

分數	内容	留意事項
5	ワークショップ概要説明・スタッフ紹介	
15	参加者自己紹介・参加理由など	現場の課題、ニーズを共有
15	「やさしい日本語」とは・求められた背景	パワーポイント資料*
15	「やさしい日本語」の作り方	パワーポイント資料*
15	練習問題*	練習問題を解き感覚をつかむ
20	ロールプレイ（シナリオ1）*	小グループに分かれる
20	ロールプレイ（シナリオ2）*	患者役交代すると良い
10	全体質疑応答	メインルームにもどる
30	全体での振り返り（全員感想）	参加者に続きファシリテータ、患者役全員がコメントする
5	事後アンケートの案内・閉会	

練習問題と回答例

「やさしい日本語」練習問題

1. 次の文を「やさしい日本語」にしてください

- (1) 易疲労感
- (2) 体調はどうですか
- (3) 体重変動がありましたか
- (4) 飲酒しますか
- (5) 一人暮らしですか

2. 次の文は少し長いですが、「やさしい日本語」にしてください

- (1) 日本に来るまでの健康状態はいかがでしたか？
- (2) 常用しているお薬はありますか？
- (3) 文化や食生活の違いなどでお困りのことがあったら教えてください

1. 回答例と解説

(1) 易疲労感

疲れやすい・すぐに疲れる

(2) 体調はどうですか

からだのぐあいはどうですか？・元気ですか？

解説

体調が悪いと変化しそうなことを尋ねる。何のための質問かによって具体的に尋ねる。

例) 痛いところはありますか(痛くないですか)、眠れますか、ご飯はおいしいですか

(3) 体重変動がありましたか

やせましたか、太りましたか、変わりませんか

解説

体重減少が医学的な判断に必要なのであれば、体重変動を尋ねるよりも

「痩せましたか？」と尋ねるのがより直感的で、的確な情報を得られる

(4) 飲酒しますか

酒を飲みますか？ビール、ワイン、ウイスキーはどうですか？(具体例を挙げると伝わりやすい)

(5) 一人暮らしですか

一人で住んでいますか？一人で生活していますか？

誰と住みますか？ 家に何人いますか、一人、二人？

2. 回答例と解説

(1) 日本に来るまでの健康状態はいかがでしたか

(相手の出身国名)で、病院に行ったことはありましたか？元気でしたか？

解説

「行ったことはありましたか」という経験を尋ねる文法は難しい

⇒ (出身国名)で病院によく行きましたか？

(2) 常用しているお薬はありますか？

あなたは毎日薬を飲んでいますか？その薬は何ですか？

(3) 文化や食生活の違いなどでお困りのことがあったら教えてください

解説

「日本での生活で、自分の国と違っていることで困っていることはありますか？」では、文章が長くてわかりにくい。なるべく短くする。

「日本と(国名)で文化は違いますか？食べ物は違いますか？」

⇒ 当然異なるので、尋ねても「違う」という答えが出るだけなので具体的に尋ねる

例) 今、何か困っていますか？ 今、問題がありますか？

日本に来て、困っていることはありますか？ 食べ物は大丈夫ですか？

何を食べますか？ 日本の食べ物が好きですか？ 日本の食べ物は大丈夫ですか？

解説

なぜその質問をするのか相手がわかると、回答しやすい

例) 栄養(←辞書で示す)が大切です。日本の食べ物は大丈夫ですか？

シナリオについて

診査で外来受診した外国人患者に状態の説明と処方内容など治療について伝えるシナリオです。医療×「やさしい日本語」研究会サイトよりダウンロードして使用することができます。現場でのニーズにあったオリジナルのシナリオを作成するのも効果的です。



- ◆ ロールプレイ用シナリオ
(診査の説明、薬の処方、回答例など)

「やさしい日本語」解説（パワーポイント）資料

「やさしい日本語」の背景と「やさしい日本語」の作り方に関する解説資料です。研修会で解説する際にこちらからダウンロードして活用いただけます。



- ◆ 「やさしい日本語」の背景
<https://easy-japanese.info/archives/50>



- ◆ 「やさしい日本語」の作り方

また、「やさしい日本語」の背景と「やさしい日本語」の作り方については動画教材「やさしい日本語」基礎編、「やさしい日本語」コツ編でも学習いただけます。研修会のはじめに、あるいは研修会の事前学習に試聴いただけます。



- ◆ 基礎編（約7分）



- ◆ コツ編（約10分半）



外国人模擬患者のリクルートと養成について

模擬患者養成の留意点

研修の意義・目的を十分に説明し協力を得る

- ◆ 事前にシナリオを確認する（シナリオで不明点があれば開始前に理解しておく）
- ◆ N3レベルの日本語話者にとって難しい言葉、をチェックする
- ◆ ロールプレイの練習をしておく
 - ✓ ポイント①演技（役作りやシナリオの暗記）は不要
 - ✓ ポイント②難しい言葉が用いられた時には、自身は理解できていても「〇〇って何ですか？」
「わかりません」などの発言をする
 - ✓ ポイント③自分の中に生じた気持ちを、その時の相手の言葉や状況と共に覚えておいて（安心、とまどい、不安、嬉しい気持ちなど）あとでフィードバックする
- ◆ フィードバックの練習をしておく
 - ✓ ポイント①具体的に伝える（漠然と「よかった」ではなく、どんな言葉がよかったのかを伝える）
 - ✓ ポイント②まずよかったところを述べて⇒改善したらよいところを話す⇒よかったところで終わる
 - ✓ ポイント③自分の個人的な意見であるとし、決して一般化しない 外国人皆が同じ意見ではない
（「私にはわかりました」、「私の場合は・・・」など）

協力いただける可能性のある外国人や依頼先

下記のようなところに相談してご紹介いただく

- ◆ 所属機関の職員：研究者・教員・看護師など
- ◆ 大学内（大学附属病院など）の国際交流センター；留学生（学生・大学院生）
- ◆ 地域の大学（留学生センター）の留学生
- ◆ 地域の外国人支援団体
- ◆ 地域の国際交流センター・財団
- ◆ 医療通訳者の団体
- ◆ 日本語学校
- ◆ 口コミ（模擬患者からの紹介）
- ◆ 医療x「やさしい日本語」研究会

模擬患者をすることは、外国人にとってもプラスの経験になるという感想をよくもらいます

ファシリテータの役割

ファシリテータは研修参加者がリラックスして研修にのぞめるよう配慮し、プログラムにそってグループワーク（主にロールプレイ）を進行する立場の人です。外国人模擬患者の協力を得ることで「やさしい日本語」の知識がなくても円滑に進めることができます。

- ◆ グループ内で自己紹介をする（和やかな雰囲気づくり）
- ◆ グループワーク後の全体会で発表する担当者を決める
- ◆ ロールプレイで医療者役になる参加者を決める（順番に全員が体験できるように配慮する）
- ◆ 外国人模擬患者と医療者役を指名してロールプレイの進行を行う
（希望があれば2名1組で外国人の対応をしてもよい）
- ◆ ロールプレイを行った参加者に感想を求める（必ず最初）
- ◆ 外国人模擬患者にフィードバックを求める（良かった点→改善したらよい点→良かった点）
- ◆ グループ内で討議する（見ていて気付いたこと、よかったこと、こうするともっと良いと思えた点、感想；誰もが一度は発言するように促す）
- ◆ 全体会で、発表者がグループ内で出た質問や感想を発表する

「やさしい日本語」に関する資料

「やさしい日本語」お役立ち資料



- ◆ そのまま使えるオノマトペシート
擬音語、擬態語が伝わらない外国人向けに多言語で説明したものです
英語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語、タガログ語があります
<https://easy-japanese.info/onomatopoeia>



- ◆ 場面別動画集
外国人診療の場で医療者が使えるフレーズを場面別に紹介した動画です



① 受付編
(総合案内)



② 医療相談編



③ 検査部編



④ 放射線部編



⑤ 病棟編



⑥ 会計編



⑦ 外来編
(受付・医師の診察・処方薬の説明)



- ◆ 「やさしい日本語」の概要とコツをコンパクトにまとめた啓発用リーフレット
両面印刷して3つ折りにすることができます
郵送をご希望の場合は、医療x「やさしい日本語」研究会にお問い合わせください
<https://easy-japanese.info/leaflet>



- ◆ 新型コロナウイルス関連教材
検査編動画、ワクチン接種編動画、「やさしい日本語」フレーズ集などがあります
<https://easy-japanese.info/covid19>

「やさしい日本語」以外のコミュニケーション

言葉で説明が難しい場合には

- ◆ 実物を見せる
- ◆ イラストを見せる
- ◆ 絵を描いて見せる
- ◆ スマホで写真を検索して見せる
- ◆ カレンダーを使う（日時を示す時）

などの方法で伝わりやすくなります。

【研修に関するお問い合わせ先】

医療x「やさしい日本語」研究会

HP: <https://easy-japanese.info/>

問い合わせ: <https://easy-japanese.info/contact>